

やり切ったひなん訓練

入野の錦野で保・小・中・高合同のひなん訓練がありました。にげている時、もしこれが現実だったら、人がいつぱいいて、そこでは人がこんらんしているんだらうか：などといういろいろなことを考えながら走りました。

けい察官や消防士さんの話で、「地しんはいつ来るか分からない」と言われた時、ああ、いつ地しんが来てもいいように心のじゅんびをしておかないといけないと強く思いました。

今回のひなん訓練は、9時45分だったけど、本当は、もっと早い時間かもしれないし、おそい時間かもしれないかもしれません。だからこそ、今から防災グッズの使い方、を学んだり、にげる場所のかくにんをしておきたいです。



(入野小学校 4年 岩村 成海)

お年寄り訪問と防災学習

佐賀中学校では、40年以上続いている一人暮らしのお年寄り訪問という行事があります。

今年は、区長さんや役場の人と一緒に訪問し、お年寄りの方から防災についての話を聞いたり、家具固定の呼びかけをすることにしました。

その中でも自分たちが一番考えなければならぬことは避難についてです。訪問先では、ほとんどの人が、足が思うように動かなくなつた、背中に痛みがある、目や耳が不自由になつたということをよく聞きました。

そうした中で自分たちが率先してお年寄りの人と避難したり避難所では声をかけてあげるなど、自分たち中学生が中心になって活動しなければならぬと思ひました。

この学習を通して、自分たちが助かることも大事ですが、地域の人たちと一緒に避難したり、助け合いをしながら声掛けや行動をしていくということに常に心掛け、これらの防災学習に取り組んでいきたいと思ひます。



(佐賀中学校 3年 太田 眞音)

楽しかった春の遠足

5月1日に春の遠足がありました。上級生と下級生が手をつないで歩きました。学校から熊井の方に行つて、どんどん山道を歩きました。

ゴールは、塩屋の浜です。長い道のりを歩くのは大変だけど、みんなといっしょに歩いていくのは楽しいです。休けいおきに飲んだお茶はいつもよりもおいしく感じました。道に寝転がると冷たくて気持ちよかったです。約1時間40分で着きました。下級生も最後まで頑張つて歩きました。着いたときは、足を動かすのもつらくて、少し座つて休みました。

塩屋の浜について、砂の芸術をしました。私の班は、ネコを作りました。最初に線でネコの絵をかいて、砂を山のようにもりあげていきました。かわいた砂だとくずれるので、海水にぬれた砂も使ひました。1年生といっしょに取つてきたきれいな貝がらを目や耳にかざりつけました。4人で協力して頑張つて完成させました。きれいにできて嬉しかつたです。

1年生といっしょにみんな楽しんで春の遠足になりました。



(伊与喜小学校 6年 櫻木 杏奈)